



AGC旭硝子株式会社相模工場 健康づくりに対する取り組みについて

1. 事業場の概要

AGC旭硝子株式会社相模工場は神奈川県愛甲郡愛川町に位置し、約118,000㎡の敷地に従業員489名（2013年5月末現在）が就業しております。関東地方の自動車メーカーに供給する、自動車用安全ガラスの総合生産工場として1972年に操業を開始しております。敷地の中に技術開発部門があり、生産部門と連携し、活動していることも特徴です。



相模工場 正門

2. 相模工場 労働安全衛生方針

相模工場は、「安全なくして生産なし」とのAGCグループの経営ポリシーの下、当工場働く全ての人々の安全と心身の健康を守るため、労働安全衛生を工場運営の最優先課題と位置づけるとともに、相模工場働く全ての人々も安全衛生の重要性を再確認し、安全最優先で行動し、一人ひとりが安全で心身ともに健康な職場づくりに積極的に参画することを促しています。また、相模工場では、当工場働く全ての人々が快適な職場環境を確保できるよう、労働安全衛生マネジメントシステム（OHSMS）を運用し、継続的な改善を図ることにより、無事故、無災害の“安全で安心できる工場”の実現を目指しています。

3. 健康づくりに対する具体的な取り組み

(1) 健康管理

①健康診断の実施とアフターフォロー

雇い入れ時、定期、海外派遣者、配置前、特殊、特定業務等に対して健康診断を実施しています。健康診断の結果は集計を行ない各部署に内容をフィードバックするとともに、問題点を把握し、次の健康施策の実施へと繋げています。また、健康診断における有所見者に対しては、個別に産業医による健康指導を行い、アフターフォローを実施しています。

②過重労働による健康障害防止対策

毎月労務担当者が各従業員の就業時間を確認し、時間外及び休日労働の合計80時間/月を超える者は産業医による面接指導を確実に実施するとともに、産業医からの助言・勧告に基づき職場での対策を行っております。

③メンタルヘルス対策

当社におけるメンタルヘルスケア施策は、厚生労働省指針（2000年）で示された「4つのケア」（①セルフケア、②ラインケア、③産業保健スタッフ等によるケア、④事業場外資源によるケア）に基づき、「メンタルヘルスセルフチェック」「eラーニング」「職場復帰支援プログラム」「従業員支援プログラム」の実施を通して4つの側面から従業員のメンタルヘルスをサポートする体制を取っております。また、当工場においては、これらの施策に加え、メンタルヘルス講演会を一般社員・管理職向けに開催しました。

④健康相談

相模工場には産業医が常駐しており、従業員は健康に関する様々な相談を行うことができます。このような密なコミュニケーションを容易にとれることが、疾病の早期発見や予防、適切な医療機関の紹介や誘導などに繋がっております。

(2) 健康教育

①健康講演会

従業員や協力会社社員を対象として、年に数回程度、外部講師による講演会を実施しており、従業員の健康知識・意識の向上に繋がっています。

②新任主任、分区長への教育

新しくラインの管理者になる従業員を対象として、産業医や外部講師による健康管理に関する各種教育を実施しております。

③HP、ポスター、パンフレット、健康ニュースによる情報提供

従業員への健康情報の共有手段として、HPやポスターやパンフレットなどを使って広く従業員に情報の周知をしています。また、健康管理に役立つ情報を載せた健康ニュースという情報媒体を1回/月発行し配布を行い、情報の共有を図っております。

(3) 健康増進施策

①各種レクリエーション活動

運動習慣作りや社内のコミュニケーション促進による健全な職場作りを目的として、各種レクリエーション活動を実施しており、2012年度は相模工場駅伝大会、ボウリング大会、夏祭り、オリエンテーリング、フットサル大会等のレクリエーション活動を実施しました。



フットサル大会



駅伝大会

②ウォーキングイベント

ウォーキングやスロージョグとは体に負担の掛からない、全身の筋肉を使って理想的な有酸素運動です。また、生活習慣病を改善することに加え、運動習慣をつけることが有効であり、肥満、メタボ予備軍・有所見者の低減や心の健康づくりへの効果も期待できます。相模工場では従業員を対象に1日1万歩を目標としてウォーキング・スロージョグを行い、1カ月間の総歩行・平均歩数を競う「ウォーク&ラン奨励月間大会」を2012年10月に実施しました。従業員からの好評を受け、2013年より「ウォーク&ラン年間コンペ」を実施しており、年間を通じて従業員の健康増進・意識向上に寄与しています。

③ノンフライデー・健康推進メニュー

健康への第一歩は、「食生活+運動」を意識することと言われており、相模工場では2011年より食堂業者・健康管理センターと協力し、ノンフライデー（高カロリーな揚げ物を提供しない日）を毎週設けており、2012年より健康推進メニューを隔週で提供しています。メニューの提供と共に高脂血症や高血糖、高血圧症など生活習慣病を予防・改善するための食材選びや調理のポイント等の様々な情報も合わせて発信しており、従業員の健康管理や食習慣改善に対する啓発にも役立っています。

(4) 快適職場づくり

①5S活動

『だれでなく、みんなでつくる、きれいな相模』を工場スローガンとして5S活動を推進しております。具体的な活動としては、5S委員会による工場5S活動計画の策定・進捗管理、工場全員による清掃活動(5Sの日)、有志職場による改善活動(5Sサークル)等を通じてお客様をいつでも、どこへでも案内できる工場を実現します。

②分煙化・禁煙支援対策

分煙化対策に関しては喫煙室の設置、喫煙室以外での喫煙禁止により分煙化を促進しております。また、禁煙の希望者に対して産業医による助言・指導や禁煙治療に保険が使える医療機関の紹介を通じて支援を行っております。

③熱中症対策

相模工場では熱中症発生ゼロを目指し様々な施策を展開しており、従業員全員を対象に熱中症防止講演会を1回/年開催し、熱中症防止のポイントを全員に周知しております。そのほか、健康管理記録表による日々の健康状態セルフチェック、温湿度計設置による危険度の把握、スポーツドリンクの値下げによる飲用推奨や熱中症指数の場内への周知等の対策を行っております。

4. 今後の重点課題と施策

相模工場の重点課題としては、①肥満・メタボ予備軍・有所見者の低減②禁煙希望者へのサポート促進③休養と心の健康づくりなどがあります。これらの課題に対して、以下の施策を実施することで改善を図ります。

(1) 食事・生活習慣病の予防・改善

現在推進しているノンフライデー（毎週）、健康推進メニュー（隔週）に加え、食堂業者や健康管理センターと連携し、正しい食事・生活習慣に関する情報を従業員に周知するとともに「料理教室」「栄養教室」等のようなセミナーを企画し、食事・生活習慣病の予防・改善をサポートしていきます。

(2) 禁煙サポートの強化

現在推進している分煙化や産業医による助言・指導などによる活動に加えて、今後禁煙セミナーの開催や希望者への禁煙グッズの配布等の施策を検討しており、禁煙のサポートを益々強化していきます。

(3) 心の健康サポート

各種のメンタルヘルス支援施策や講演会に加え、健康管理センターの機能をより一層強化し、メンタルヘルス関連情報を従業員に提供し、早期の発見・治療などに繋げていきます。

以上が旭硝子株式会社 相模工場の健康作りに関する取り組みです。